

1 事業の概要

高等学校教育改革促進基金の創設 ～N-E.X.T.(ネクスト)ハイスクール構想～

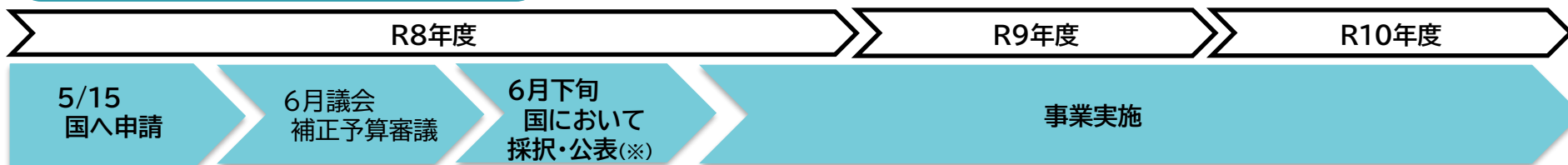
各都道府県に基金を設置し、以下3類型に応じた
 高校教育改革を先導する拠点のパイロットケースを創出し、取組・成果を域内の高校に普及する

【類型1】	【類型2】	【類型3】
アドバンスト・エッセンシャルワーカー等 育成支援	理数系人材 育成支援	多様な学習ニーズに対応した 教育機会の確保
AIやデジタル技術を駆使しながら地域 産業や社会の課題を解決できる人材や、 地域発のイノベーションを興すことので きる人材等の育成	文理にとらわれない幅広い教養等を 備えた新しい価値を創造する人材等 の育成	学校の枠を超えて多様な人々と協働 し、社会の課題を主体的に探究・解決 できる人材等の育成

2 基金の概要

拠点の対象	公立の高等学校等
拠点の数	原則、各類型1拠点ずつ合計3拠点 (ただし、条件を満たす場合、最大4拠点まで申請可)
補助額(率)	1都道府県あたり62億円程度(10分の10) ※国の令和7年度補正予算額2,955億円
対象経費	人件費、旅費、設備・施設整備費等
対象期間	令和10年度末まで

3 府における基金関連スケジュール



※国・審査委員会による審査で選定されるため、申請額がそのまま保証されるものではない。

高等学校等教育改革促進基金事業費の概要(国への申請の概要)

類型	1 アドバンスト・エッセンシャル ワーカー等育成支援	2 理数系人材育成支援	3 多様な学習ニーズに対応した 教育機会の確保
拠点校名	①府立新工業系高校(仮称) ②府立農芸高等学校	③府立天王寺高等学校	④府立大阪わかば高等学校
改革目標	○ICT技術等を活用し、企業・大学等と連携した次世代産業の担い手の育成。 ①新工業系高校:ロボティクス技術等の利活用で未来社会の課題解決を実現。 ②農芸高校:工・農・商業分野が融合した生産・加工・販売までを担える知識・技能の育成。	○大学・企業との連携による日本及び大阪の先端産業(ライフサイエンス、カーボンニュートラル、量子)を牽引する理数系人材の育成と、府立高校全体における理数系進路選択者の拡大。	○外国にルーツをもつ生徒と日本人生徒との協働的な教育プログラムを通じて、グローバル・多文化共生社会をリードする人材、国際観光都市・大阪の成長産業を担う人材を育成。 ○日本語指導が必要な生徒への先進的な学習環境の整備等により、生徒の多様なニーズへきめ細かく対応できる支援体制を構築。
主要な教育活動の内容	<協働実施> ○工業(制御・IoT)×商業(商品化・流通・高付加価値化)×農業の協働探究型学習プログラムの開発・実施。 ①新工業系高校(仮称) ○AI、IoT技術等に係る設備導入による先端技術実習の実施。 ○企業からの外部指導体制のモデル構築。 ②農芸高校 ○完全環境制御型植物工場の設置、データ・AI活用専用機器の導入によるスマート農業実習の実施。 ○先端食品加工設備の導入による、6次産業教育プログラムの実施。	○ライフサイエンス・カーボンニュートラル・量子分野の教育研究プログラムについて、大学・企業とのカリキュラム開発、外部指導者による実習で実現。 ○最先端実験機器(電子顕微鏡、光学実験装置、分析機器等)を活用した高度な教育研究活動を行う高度実験エリアの整備。 ○理数系分野への大学進学者の拡大に向け、GLHS連携校、府内高校とも連携し、施設開放、進路指導の知見の共有等を実施。	○単位制・無学年制・半期認定による全国先駆けの多様な学習ニーズに対応できるモデルカリキュラムの構築。 グローバル・多文化共生社会をテーマとした教育プログラムの開発。 ○大学や企業等との「地域連携推進・多言語教育支援室」を設置し、観光産業等への就労支援・キャリア教育、大学進学、資格取得支援等を実施。 ○多文化交流の場「マルチ・コモンズ・スペース」や語学指導のオンライン配信専用空間等を設置。
積立額 (R8~R10)	①1,045,104千円 ②1,707,606千円	1,683,779千円	1,808,210千円
R8当該事業に充当する予算額	①31,926千円 ②194,006千円	128,011千円	166,139千円

(本事業に関する問合せ先)

【事業全般】高校改革課教育改革推進G TEL:06-4397-3589 【類型1】高校改革課実業教育G TEL:06-6944-6369

【類型2】高等学校課教務G TEL:06-4397-4125

【類型3】高等学校課経営支援G TEL:06-6944-6883

予算額計 6,812,417千円 (R8~R10)

※事務費22,865千円、基金運用益24,771千円を含む